※ 共同企業体（ＪＶ）案件の場合

例）　同日落札制限により無効となる場合

◆ 開 札　１件目（JV案件）▶ 落札：Ａ＋Ｂ共同企業体



◆ 開 札　２件目（JV案件）▶ Ａ又はＢが構成員となっている共同企業体は無効

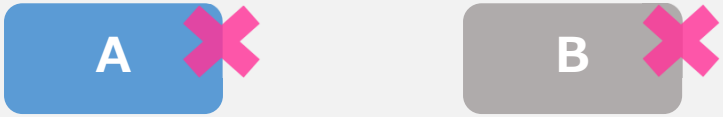


落札した業者が含まれているため無効



親・子を変えても無効

◆ 開 札　３件目（単体案件）▶ Ａ及びＢは、１件目のJV案件を落札しているため無効



Ｃ及びＤは、３件目の単体案件は有効です。